



税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

みずの通信

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7
TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2016. 7

小牧山

久しぶりに小牧山を登りました。山頂の小牧山城は小牧市歴史館となっており、以前登ったときは、個人の展示が主で織田信長等とは関係ないものでしたし、どちらかといえば、「市民の憩いの公園なのだ」との印象でした。今回は、登り道には発掘した石垣等もあり、歴史館の内も織田信長や発掘に関する展示となり、結構楽しめました。

小牧山は織田信長の居城があったところでもあります。小牧長久手の戦いで徳川家康が布陣したところでもあります。小牧と長久手とは距離があり、地理的には一括りすることはイメージとして難しいのですが、歴史の舞台としてはそれが一つになるのは面白いところです。小牧山城の展望台は四方を一望でき、この地を徳川家康が押さえたことは、豊臣秀吉に対してこのうえなく戦闘を有利にしたことは容易に想像できます。この地からはるか長久手方面をみると、ここから何千の兵士が長久手まで徒歩で戦いに赴いた様子を想像し、壮観でもあります。



舛添都知事の辞任

舛添都知事がとうとう辞任しました。

「公用車を使うべきかどうか、公私を厳格に判断すべき」との話に私は賛同しません。

基本的に、知事には「私」の時間はなく、24時間、1年365日、「公」の立場の人だからです。何かあれば、すぐ連絡がとれ、すぐ対応できるように、常に自分の居場所をはっきりさせ、車の中でも書類に目を通し、電話の応対ができなければならないからです。それには運転手付きの公用車利用が欠かせません。また、公用車を使わなくても、運転手の給料、公用車の保険料、メンテナンス料も支払われます。使わなかったとしても経費がそれほど浮くわけではないのです。

では、なぜ、舛添氏はこんなにも、セコイ、ずるい、と言われるのでしょうか。

きっと、答弁が他人事、評論家的に聴こえてしまうからだと思います。

常日頃、一生懸命、都政について考えていて、自分のビジョンの実現をめざしているとの気概があれば、答弁の迫力も違って来たように思います。何となく、真摯さがなく、何か他ごとを考えていて、公のお金を使って趣味の世界に興じている人とは見えませんでした。

最後に意地を見せるかと思ったのですが、結局、辞任することになりました。内容的に辞任まで追い込まねばならないほどのものでもなく、やり直しの機会を与えてもおかしくないのではないかと思います。無駄遣いが許せないといって辞任に追い込み、40億円以上かかる選挙をする、これも大いなるお金と時間と労力の無駄だと思うのですが。

日本は未だに切腹させないと気の済まない民族だと思います。

マイナンバーカード

1月20日過ぎにマイナンバーカードの申請を郵送し、ちっとも届かないので、さすがに紛失等があったのではないかと心配になり、6月に入って岐阜市にメールで問い合わせたら、6月18日に送るつもりであったが、少し早めますとの返事がありました。そして郵便物が届いて、引き換



えは6月下旬（この原稿を書いているときは未だ受け取っていません）、5カ月を要することになります。

民間に対して盤石な対応を求めているながら、官の対応は形容しがたいです。

さて、某週刊誌に、福島県飯館村に414億円の最新鋭巨大焼却炉が建設され、放射能汚染された物質を今年の1月から本格的に処理する予定が、湿った廃棄物が粘土状になって回転刃物に付着したとか、コンクリートや金属の不燃ごみが混入したとかで3カ月で稼働が止まってしまっているとの記事がありました。誰でも想定できそうな事態に対応できず、ずっとけるところは、オリンピック、国立競技場、マイナンバーと、昨今の行政の在り方です。

むかし、分厚い紙束に2つの穴をあけることのできる器具を事務機屋さんに頼んだところ、電動式でトラブル続き、あつという間に壊れてしまいました。その後、自分の体重を乗せて一気に穴をあける手動の穴あけ器を購入、故障もせず、今日まで快調に満足できる仕事をしてくれます。最新鋭もいいですが、きっと、前処理するローテクの機械も必要なのでしょう。

消費税

消費税の増税が見送られることになりました。2年半、参議院選のみでなく、衆議院選をも見越したうえでの2年半なのでしょう。

この判断が正しくて、海外の投資家が日本に投資して株価が上がり、景気がよくなるかもしれませんが、一国のリーダーが前回の総選挙の時に消費税の増税を見送ると決め、平成29年には絶対増税すると言い切り、約束すると言いながら、今回選挙間際で増税を見送ったことは、このリーダーの言うことを信じて活動してよいのか不安を与えることとなります。あれだけ自信に満ち、堂々としていた安倍政権に陰りが見え始めたような気がします。

4月は新年度、新入社員も入り、来年4月からの軽減税率導入の特需を見込み、関連する民間の会社は人員の体制を整え終わったところでしょう。これからというところで梯子を外され、この人員どうするかと困惑しているかもしれません。

予算が成立して軽減税率導入対策補助金1,000億円の予算が執行されました。業者登録の申し込みが終わり、これから一般受付というところですが、補助金の申請は今後も受け付けるとのことですが、多分、閑古鳥が鳴くかと思えます。

予定された特需を間際になって潰してしまった付けは意外と大きな歪を生むのではないかと思います。潰すならば、予算成立前にすべき、判断すべきではなかったでしょうか。

選挙対策、小手先が目につきはじめました。

いろが / みんなで / おんがく してる
ああ きれい
てんの / こころの / うた みたい



<にじ/まど・みちお>